

# 国際アニメーション・デー 2019 in 野々市 18th International Animation Day

## 世界のアニメーション上映

入場無料  
要・事前予約



10月31日(木)

野々市市情報交流館  
カメラア ホール橋

18:00 開場

18:15 ~ 19:35

「クロアチアの  
最新アニメーション」

- 休憩 -

19:45 ~ 20:55

「世界のアニメーション -  
広島国際アニメーション  
フェスティバル受賞作より」

ASIFA  
АСИФА

Association  
Internationale  
du Film d'Animation

asifa.net



<http://asifa.jp>

10月28日はアニメーションの日

Design: Giannis Koutsouris

上野浩司

お問合せ・お申し込み：野々市市情報交流館カメラア Tel: 076-227-6200 石川県野々市市三納 1-1

主催：公益財団法人 野々市市情報文化振興財団、国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-JAPAN) 協力：広島国際アニメーションフェスティバル

10月28日は、フランスのエミール・レイノー (Emile Reynaud 1844 ~ 1918) が、1892年、パリのグレヴァン博物館にて、自ら発明したテアトル・オブティック (視覚劇場) を用いて、世界で初めてアニメーションを一般公開した日とされています。国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA、本部: フランス・アマシー市) は、アニメーションアートの普及と発展を目的として、この記念すべき10月28日を「国際アニメーション・デー」と決めました。2002年から、各国のASIFA支部を中心に、毎年10月28日およびその前後、世界中で「同時に」アニメーションの上映や関連の催しを行ない、お祝いをしています。日本でも2005年からASIFA日本支部 (ASIFA-JAPAN) が主体となってこの企画に参加しており、今年は京都・野々市・あつぎ・韮崎・広島 の5都市で「国際アニメーション・デー 2019」を開催いたします。毎年パラパラまんがコンテストを実施している、ここ、野々市では今年で5回目となる開催! 世界各国の個性豊かな短編アニメーションを上映します。アニメーションが持つ豊かな表現力やメディア芸術の魅力に触れてください。

## クロアチアの最新アニメーション — 提供: ASIFA-Croatia ○18:15 ~ 19:35

### (1) サイクリスト

CYCLISTS / BICIKLISTI  
Directed by: Veljko Popović  
2018 / 7:20 / クロアチア

© Lemonade3D / Krupni kadar / Bagan Films / 3D20 Animatori

自転車レースの戦いはよいよは終盤へと向かっていた。先頭を引っ張るの男達二人が目ざすものはもちろん栄えある優勝。しかし二人が勝ち取ろうとしているのはそれだけではない。あるレディのハート、そしてエロティックな夢。一方、この小さな港町は豪華客船の寄港を迎え、準備に大忙しだった。そしてこの船には男前の船長が乗っていた。



### (2) いかに鋼鉄は鍛えられたか

HOW STEEL WAS TEMPERED / KAKO SE KALIO ČELIK  
Directed by: Igor Grubić  
2018 / 11:40 / クロアチア

© Kreativni sindikat

父親は息子を昔働いていた廃工場へと連れていく。工場の建物は長いこと壊れたまま。新しきものはいずれ古きものとなる、といったシンボルのようなものだ。しかし今その工場の中に、働く仲間の団結の記憶が生き生きとよみがえり、活気を取り戻す。高揚感にあふれちよっと胸を張る。昔の動作をやってみた。それで何か胸のつかえが降りた。父と子の絆が新たなものになる。



### (3) 二人対二人

TWO FOR TWO / DVA NA DVA  
Directed by: Jelena Oroz  
2018 / 8:00 / クロアチア

© Bonobostudio

ひとを愛することを止め、自己の幻想に飲み込まれる瞬間 (とき) —— そんなときのほの暗い気分の風景。人が互いに理解しえない時、私たちの化身、アバターは互いに通じる言葉を持ちえるのだろうか?



### (4) 多数の中の一人

ONE OF MANY / JEDAN OD MNOGIH  
Directed by: Petra Zlonoga  
2018 / 5:25 / クロアチア

© Bonobostudio

私は一人。多数の中の一人。みんなの中の一人、でも唯一の一人。いつも無理かな? と思えるようなものを探し求めている私。私はいったい何を探しているのだろうか。



### (5) だまし

FLIMFLAM / FLIMFLAM  
Directed by: Marko Belić  
2018 / 8:00 / クロアチア

© ALU / Zagreb Film

想像上の世界のなかの、ある二人の出会いの物語。人形遣いが彼の惑星上で誰か来ないか、とじりじりとして待っている。やっと訪問客が現れた。人形遣いはその嬉しさを精一杯表した。訪問客は、そんな人形遣いのおべんちやらをいぶかし気に思いながら、この親切心の裏に何かあるのだろうか、と探る気になった。



### (6) 亜宇宙空間の記録

DOKUMENT PARAKOZMIK / DOKUMENT PARAKOZMIK  
Directed by: Vladislav Knežević  
2018 / 19:00 / クロアチア

© Zagreb Film / Kinoklub Zagreb

重力波が全ての現存の次元、ほぼ探知不能の次元も含め、突き抜ける。もともとは功利主義である科学の実証実験が、物質の多次元的な構造を解析しようとする。が、それは奇怪な現象をも、もたらさないだろうか。



### (7) ボボ

BOBO / BOBO  
Directed by: Andrej Rehak  
2018 / 14:04 / クロアチア

© UO Anima / Zagreb Film

これは世界で一番小さな男の子、ボボ、の話。全ての男の子、全ての女の子は皆、小さなボボより大きかった。ボボはとても悲しい。ボボにとって全ての大人は、童話に出てくる巨人のようだし、公園の大きなカラスはまるで黒いドラゴンのようだ。ボボの一番の願いは、世界で一番大きな男の子になることだった。



## 世界のアニメーション - 広島国際アニメーションフェスティバル受賞作より ○19:45 ~ 20:55

### (1) ストリーマー・ナイト 【第10回大会 国際審査委員特別賞】

監督: ミシェル・ルミユ  
2003 / 9:55 / カナダ

嵐の夜、ある少女は犬と一緒にいた。たくさんの疑問が彼女の頭の中をよぎる。



### (2) 愚か者の村 【第8回大会 木下連三賞】

監督: ユージン・フェドレンコ、ローズ・ニューラブ  
1999 / 12:41 / カナダ

生まれた時から住んでいるケルムの村での日々の生活にうんざりしたシュメンドリクは、知を求めて旅立つ。新たなケルムにたどり着きはしたものの、懐かしい鶏の鳴き声までそっくりそのままの、昔のケルムと瓜二つだった。ユダヤの民話をもとに、ジョン・ラザルスが脚色したもので、気味悪いほどにかよったシュメンドリクの新しい生活と元の生活を描き、自分の持っていないものをロマンチックに描きがちな我々の性癖をおもしろおかしく表現する。



### (3) パラダイス 【第5回大会 国際審査委員特別賞】

監督: ネジェリコ・ウボヴィッチ  
1994 / 1:40 / 旧ユーゴスラヴィア

二人にとっては、この小さいものがすべてだろうか?



### (4) フライング・ナンセン 【第8回大会 優秀賞】

監督: イゴール・コヴァリヨフ  
1999 / 11:38 / アメリカ

探検家ナンセンが女の待つ南極へと旅する。



### (5) ラ・ピルエット 【第9回大会 国際審査委員特別賞】

監督: タリ  
2002 / 8:00 / カナダ

都市に住んでいる人々が、いかに夕食の食卓の上ののっているものとのつながりを絶たれているかを表す食物連鎖についての作品。こういった都会的な傾向と著しく対照的に、老女は動物をかわいがり育て、そして食べてしまう。



### (6) サンドマン 【第4回大会 グランプリ】

監督: ポール・ベリー  
1991 / 10:00 / イギリス

サンドマン (砂かけ男) のお話は、欧州の就寝時の子どもたちを恐怖のどん底へ落としかけている。眠れない子どもたちに砂をかける影のようなサンドマンの暗いお話は、非常に恐ろしい結末を迎える。



### (7) 地球の果てで 【第8回大会 国際審査委員特別賞】

コンスタンティン・ブロンジツ  
1999 / 7:46 / フランス

山のてっぺんで、微妙にバランスをとっている家が、一方からもう一方へと傾き、住人たちを悩ませる。

